学校番号	3035

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学ⅢC 演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	クリアー　数学演習Ⅲ・C〔複素数平面，式と曲線〕受験編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
既習単元すべてを履修して身に着けた基礎的な知識を，演習を通じて習熟を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
数学Ⅲも含めた標準的な内容を中心に、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	既習単元における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	既習単元における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	単に答えの値さえ出せば良いというのではなく、今までに得た知識に基づき数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	演習	既習単元の演習	a： 正しい論理に基づいて、正しく定理を用いたり、正しく計算できているか。また、短い時間で解答できるか。 b： 数学的な見方や考え方をしているか。途中式や考え方を論述することができるか。 c： 課題に対して，自ら考え，周りの人と協働して考えているか。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題	授業内課題 提出課題 観察
後期	演習	既習単元の演習	a： 正しい論理に基づいて、正しく定理を用いたり、正しく計算できているか。また、短い時間で解答できるか。 b： 数学的な見方や考え方をしているか。途中式や考え方を論述することができるか。 c： 課題に対して，自ら考え，周りの人と協働して考えているか。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題	授業内課題 提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度